

## 計画停電の体験談



三島市広報広聴課  
伊藤絵美さん

三島市では3月～4月にかけて計画停電がありました。三島市役所の庁舎も4回停電に。まち全体も混乱していたように思います。

正直、2度と経験したくないですね。街中は想像してたよりも暗く、歩いているとすれ違う人とぶつかってしまうほどでした。車を運転しても街灯や信号機がついておらず、慎重に運転したのを覚えています。本当に怖かった。停電は広い道路などでも例外なく実施されます。国道では右折しようとしても対向車がひっきりなしに走行しているため渋滞していました。

市民生活にも大打撃を与えてきました。「いつ停電になるかわからないので、店を開けられない」「工場を動かせない」といった声が聞かれました。

## 原発停止の影響 電力不足が懸念

東日本大震災で放射能が漏れた東京電力福島第一原子力発電所（福島原発）。原発が機能しなくなったことで、東京電力管内では電力不足が生じています。3月～4月にかけて東京電力は、緊急措置として計画停電を実施。管内の住民は不安な日々を送りました。福島原発の事故を受け、菅直人首相は、浜岡原子力発電所（浜岡原発）の全号機停止を要請。中部電力は要請を受け入れ、5月13日～14日にかけ4号機、5号機をそれぞれ停止しました。この停止に伴い、中部電力の供給力は低下

今夏の電力不足が心配されています。

## 供給予備力が低下 ギリギリライン

中部電力が策定した本年度の電力供給計画で、同社は供給力を2999万キロワット、ピーク時の最大電力需要を2560万キロワットと想定し、供給予備力を439万キロワットと考えていました。ところが、全号機停止で361・7万キロワットが失われ、供給予備力は126万キロワットに。供給予備率も4・8%と厳しい状態になりました。中部電力管内の電力需要の約7割は産業用です。同社は静岡、愛知、三重、岐阜、長野県を賄っており、その中に

## 夏を乗り切るには 節電が必須

政府は東京電力、東北電力管内の家庭や企業に15%の節電目標を打ち出しました。中部電力管内は対象外ですが、電力不足に陥る危険性が十分にあります。本地域でも節電に取り組み必要があります。

は大手自動車会社などの製造業の工場が集中しています。計画停電という事態になれば、日本経済に与える影響はとて大きいものになります。企業の判断で、電力使用量が少ない土・日曜日に操業し、最も電力使用量が多い木・金曜日を休日とする、異例の対応策を取った企業もあります。



## 中部電力の電力不足解消対策は？

中部電力が浜岡原発停止に伴い、当初打ち出した電力供給計画の電気供給予備率は4・8%でした。電力不足を何とかしなくては行けないと、当社でもさまざまな手だてを講じています。具体的には、

- ①電力消費がピークを迎えるのは、午後1時～4時の間。当社と全グループ会社を3グループに分けて、午後の時間を1時間ずつエアコンを停止しています。
- ②火力発電所の定期点検時期の変更と

工程を短縮したことにより電気供給力が追加されました。

- ③供給力を少しでも増やすために、他事業者から電力を購入しています。
- ④自家用発電設備を持つ企業には、発電をお願いしています。
- ⑤大規模な工場などのお客様へ操業調整のお願いもしています。

当社では、最大限の節電をして電力不足解消に努めています。ホームページで節電のアドバイスもしています。ぜひご参考にしてください。



中部電力㈱営業部  
熊切武男 課長